

深海潜水調査船支援母船「よこすか」

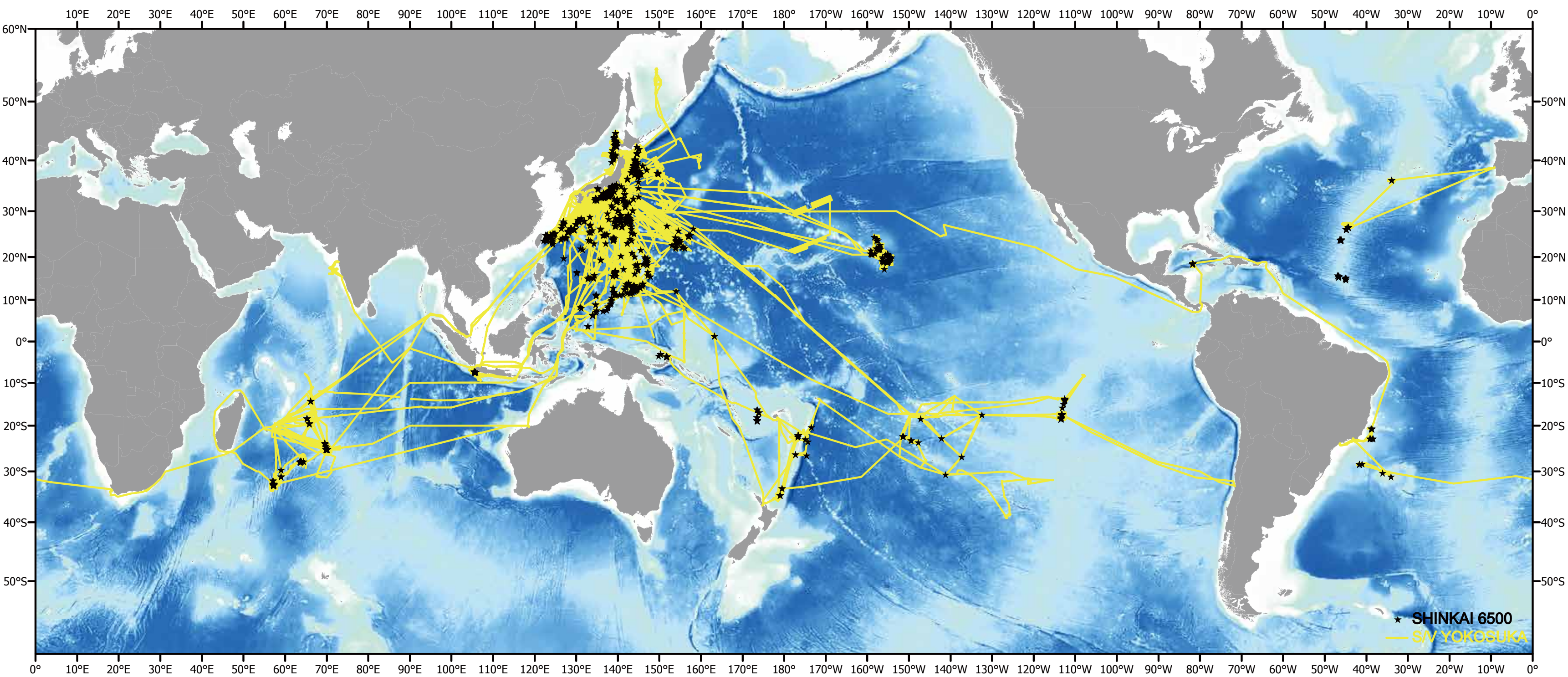


運用主目的	潜水調査船支援
竣工年	1990 年
全長 × 幅 × 深さ	105.2 × 16 × 7.3 m
満載喫水	4.7 m
国際総トン数	4,439 トン
巡航速力	12 ノット
乗員(うち研究者等)	60名 (15名)
推進方式	ディーゼル推進
推進装置	可変ピッチプロペラ × 2軸

海底へ潜水調査する探査機を支援する船

「よこすか」は、深度 6,500m まで潜航可能な有人潜水調査船「しんかい 6500」の支援母船として、「しんかい 6500」の調査海域までの運搬、潜航の事前調査、潜航中の支援を行います。また、深海探査機「うらしま」の支援母船としての役割も担っています。そのほかにも調査目的に応じた海洋観測機器を搭載して単独で海洋調査を行います。

「よこすか」「しんかい6500」の軌跡



1988 年～2023 年 3 月時点の「よこすか」の航跡(黄線)と「しんかい 6500」の潜航ポイント(★)

主な経歴

- 2011 年 東北地方太平洋沖地震の緊急調査を実施
- 2013 年 「QUELLE(クヴェレ) 2013」世界一周航海を実施
インド洋→ブラジル沖→カリブ海→トンガ海溝→ケルマディック海溝を調査
- 2023 年 「しんかい 6500」通算 1700 回潜航を達成

主要設備

「よこすか」には、総合指令室、ラボラトリー（研究室）3 つと可搬式ラボラトリー 1 つがあり、「しんかい 6500」及び母船の観測装置で計測したデータの解析、採取したサンプルの分析、保管のために使用することができます。また、これら設備のほか、研究者が必要な機器を持ち込み、設置することができます。

1 Aフレームクレーン

後部甲板には潜水調査船を着水・揚収するための巨大な「A フレームクレーン」が備わっています。「しんかい 6500」をはじめ、「うらしま」や「じんべい」などの探査システムを海中に降ろしたり、引き揚げたりするのに使います。



2 操舵室&総合指令室

音波を使って潜水調査船と常に連絡を取ることができる「水中通話機」



調査を円滑に行うために潜水調査船から送られてきた海底の画像を確認できる「画像伝送装置」



1 Aフレームクレーン

後部操舵室

可変ピッチプロペラ

3 格納庫

4 各種音響機器送受波器

5 ラボラトリー

3 格納庫

探査機の整備を行うこともできる広い格納庫



4 各種音響機器送受波器

船底部の音響航法装置の送波器（手前の2つ）と水中通話機の格納式のソーナードーム



5 ラボラトリー

上甲板にはデータ解析を行う第1ラボラトリー、第2甲板には採取試料の処理や分析を行うウェットラボラトリーがあります。

